

が

議会だより No.158

新体制紹介 …………… P 2～3	議決結果 …………… P 9
令和4年度決算…………… P 4	一般質問 …………… P 10
9月定例会・委員会質疑 …… P 6	あとながき …………… P 16
決算特別委員会 …………… P 8	



議員を紹介します

(議席番号順・令和5年11月25日現在)

新議会での活動スタート!

議長に沖永義樹氏、副議長に梶谷忠明氏を選出

ご挨拶

沖永義樹

このたび、議員各位のご推挙により、議長並びに副議長の要職に就かせていただきことになりました。身に余る光栄であり、その責任の重さに、改めて身の引き締まる思いでございます。

時代の移り変わりが著しい昨今、地方自治体には、状況の変化に柔軟に対応することが求められております。

二元代表制の一翼を担う議会として、町執行部としっかり議論し、実効性ある施策の実現を図ってまいります。

今後も活力ある議会を目指し、議員一人丸となって議会改革に取り組んでまいりますので、引き続き、皆様方のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



梶谷 忠明 副議長 沖永 義樹 議長

<p>01</p>  <p>角崎 明美 (53) 当選回数：1回 会派：無会派</p>	<p>02</p>  <p>森 琢磨 (62) 当選回数：1回 会派：高志会</p>	<p>03</p>  <p>福山 直樹 (64) 当選回数：1回 会派：飛翔の会</p>	<p>04</p>  <p>田淵 朗 (69) 当選回数：1回 会派：高志会</p>
<p>05</p>  <p>末石 伸二 (53) 当選回数：2回 会派：飛翔の会</p>	<p>06</p>  <p>花見 文敏 (57) 当選回数：2回 会派：高志会</p>	<p>07</p>  <p>村上 智宣 (44) 当選回数：3回 会派：高志会</p>	<p>08</p>  <p>岩谷 潔 (57) 当選回数：3回 会派：飛翔の会</p>
<p>09</p>  <p>尾形 均 (76) 当選回数：5回 会派：無会派</p>	<p>10</p>  <p>白石 学 (75) 当選回数：5回 会派：公明党</p>	<p>11</p>  <p>友田 敬而 (55) 当選回数：6回 会派：無会派</p>	<p>12</p>  <p>小山 信美 (66) 当選回数：6回 会派：公明党</p>
<p>13</p>  <p>武内幸次郎 (72) 当選回数：8回 会派：無会派</p>	<p>14</p>  <p>坂本東二郎 (75) 当選回数：8回 会派：高志会</p>	<p>15</p>  <p>梶谷 忠明 (76) 当選回数：6回 会派：無会派</p>	<p>16</p>  <p>沖永 義樹 (57) 当選回数：5回 会派：高志会</p>

委員会紹介

総務常任委員会



- 委員長……花見 文敏
- 副委員長…武内幸次郎
- 委員……梶谷 忠明
森 琢磨
角崎 明美

議会運営委員会



- 委員長……末石 伸二
- 副委員長…花見 文敏
- 委員……小山 信美
尾形 均
村上 智宣
森 琢磨

厚生文教常任委員会



- 委員長……白石 学
- 副委員長…友田 敬而
- 委員……尾形 均
岩谷 潔
福山 直樹

産業建設常任委員会



- 委員長……村上 智宣
- 副委員長…末石 伸二
- 委員……坂本東二郎
小山 信美
田淵 朗

一部事務組合議会議員

- 行橋京都メディカルセンター組合…沖永義樹・白石 学
花見文敏
- 京築地区水道企業団……沖永義樹

監査委員

- 町の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理などの監査
- 委員……岩谷 潔



※議会広報特別委員会メンバーは16ページに掲載しています。

令和4年度
決算認定

計画的な財政運営を推進!

CHECK! 令和4年度決算 注目目玉事業

町の予算がきちんと執行されたか、決算特別委員会で慎重審議し、すべての会計決算を認定しました。その中で、議会が注目した目玉事業を紹介します。

安心安全のまちづくり

(主な事業)

災害用備蓄品の充実：約 409 万円
消防団ポンプ自動車更新：約 2067 万円



消防団ポンプ自動車

未来への投資

(主な事業)

北九州エアターミナル出資金：約 990 万円
給食センター改修・設備更新：約 5620 万円
図書館改修事業：約 865 万円



給食センター

デジタル化 (DX) の推進

(主な事業)

公共施設の予約システム導入・Wi-Fi 整備事業：約 403 万円
子育て支援情報配信サービス導入事業：約 61 万円



町ホームページ内の「デジタル町役場」

脱炭素社会の実現

(主な事業)

次世代自動車購入費補助金：約 846 万円



公用車 (電気自動車)

新型コロナウイルス感染症対策

(主な事業)

子ども医療費支給対象の拡大：約 2119 万円



新型コロナワクチン接種会場

令和4年度
一般会計決算について

歳入は昨年度に比べ2.3%減の165億6133万円、歳出は1.1%減の158億8888万円、差引額は6億7246万円となりました。また、翌年度に繰り越すべき財源は1億3345万円で、実質収支は、5億3901万円の黒字となりました。

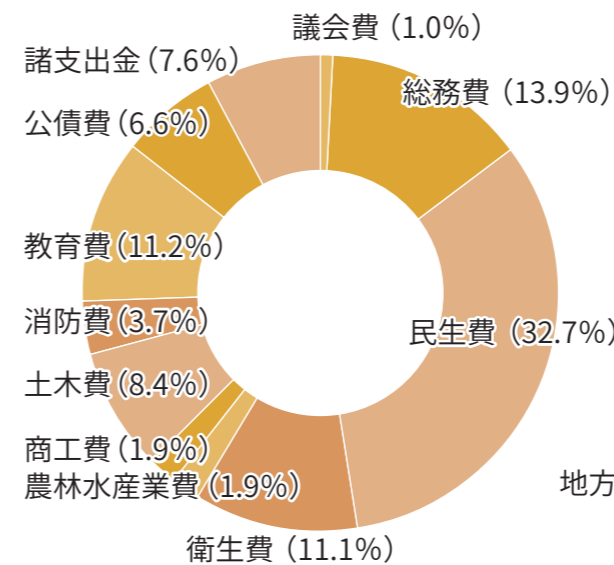
本年度の実質収支から昨年度の実質収支を差し引いた単年度収支は2億9513万円の赤字となりました。積立金等を加減した実質単年度収支は、3億4789万円の赤字となりました。

決算委員会の審議の内容は、8ページをご覧ください。

※表示単位未満は四捨五入のため端数が合わない場合があります。

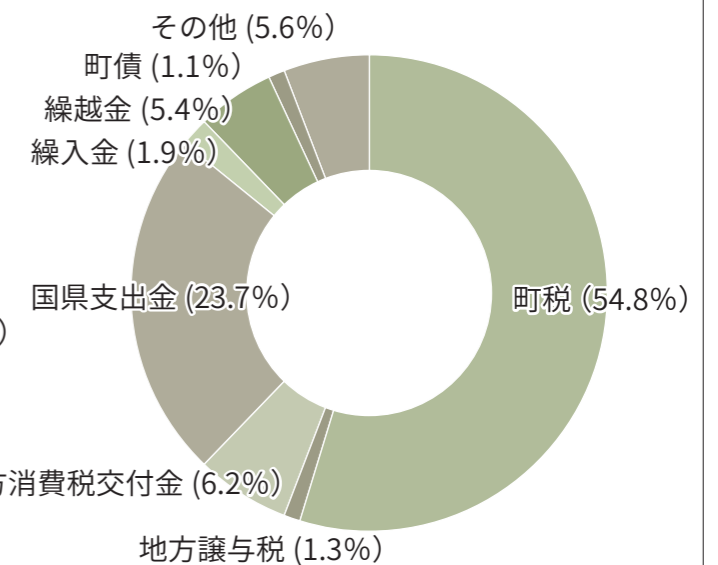
歳出

歳出合計 158 億 8888 万円



歳入

歳入合計 165 億 6133 万円



歳入① 165 億 6133 万円
歳出② 158 億 8888 万円
差引 ①-② 6 億 7246 万円

※表示単位未満は四捨五入のため端数が合わない場合があります。

健全財政を維持しています

- ・ 財政力指数：1.240
- ・ 経常収支比率：82.7%

財政力指数とは…財政運営の自主性の大きさを表す指数
経常収支比率とは…財政の弾力性を表す指標

令和5年度一般会計補正予算等23件を審議

8月25日
～
9月12日

補正予算

令和5年度一般会計補正予算(第5号)は、3億9774万7千円を追加し、補正後の総額は163億3764万8千円。

条例改正

●印鑑登録及び証明に関する条例
コンビニ等の多機能端末機で印鑑登録証明書を発行する際、スマートフォンに記録された

電子証明書を用いた方法による発行が可能。

火災予防条例

蓄電池設備に係る火災予防上必要な措置の改正、固体燃料を用いた厨房設備の離隔距離が新たに定められたため所要の改正。

その他の議案

●専決処分(一般会計補正予算(第4号))
学校の安全対策のための予算措置。

人事案件

●人権擁護委員の候補者の推薦
横手 由美氏を再任。
岩田 孝秀氏を任用。
●教育委員会委員の任命
沖永 圭子氏を再任。

委員会質疑

総務

常任委員会

●一般会計補正予算(第5号)

【総務費】

●集会所施設整備補助金の内容は。

【A】松原、幸町、本町公民館の修繕によるもの。

●火災予防条例

●条例改正の内容は。

【A】蓄電池設備に係る基準の見直しと固形燃料を用いた火器設備離隔処理の見直しによるもの。

産業建設

常任委員会

●一般会計補正予算(第5号)

【総務費】

●北九州空港整備事業負担金の使途及び負担比率は。

【A】北九州空港滑走路延長にかかる用地造成や地盤改良等の費用。負担比率は事業費の1%。

【農林水産業費】

●水路維持補修工事及び水路改良工事の内容は。

【A】水路浚渫補修が8ヶ所で550万円。農道・里道補修が2箇所200万円。井堰工事が2箇所

100万円。水路改良工事については、3箇所550万円である。

【商工費】

●臨空産業公園整備の今後の見通しは。
【A】今年度、基本構想を策定。来年度、設計。再来年度、工事を考えている。

●水道事業会計補正予算(第1号)

●油木ダムの補修内容。

【A】7月の豪雨により、ダムへ大量に流れ込んだ倒木等の撤去である。

*令和5年度補正予算 (歳出で補正した主なもの)

【一般会計(第5号)】	
・チャットGPTの活用	93万円
・ピアランス(外見)ケア推進事業助成金	30万円
・臨空産業公園の整備	884万円
・消防指令車更新	504万円
【国民健康保険特別会計(第2号)】	▲723万円
【後期高齢者医療保険特別会計(第1号)】	▲139万円
【介護保険特別会計(第1号)】	6385万円
【土地区画整理事業特別会計(第2号)】	▲73万円
【下水道事業会計(第2号)】	839万円
【水道事業会計(第1号)】	238万円

厚生文教

常任委員会

●一般会計補正予算(第5号)

【民生費】

●成年後見センターの増額の理由は。

【A】利用者割の按分率の変更のため本町の負担が増えた。

●成年後見センターの利用者が増えた理由は。

【A】成年後見センターの存在が周知されたこと、認知症に対する理解が進んだ。

●保育所等物価高騰対策費補助金の該当条件と対象の園は。

【A】高圧電力の契約をしている園と、送迎バスをしている園が対象。第2ひまわり保育園と白川保育園。

●要保護児童対策地

域協議会の内容は。

【A】協議会の代表者で構成される年1回の会議。その目的は、支援が必要な子の情報共有と共通認識を持つこと。

●本町での要保護児童を有する世帯数は。

【A】23世帯。

●新型コロナウイルス予防接種健康被害救済給付金の該当人数は。

【A】1名。

●消火器と消火栓ホースの耐用年数と点検回数は。

【A】消火器の耐用年数は10年。消火栓ホースには耐用年数はない。しかし、年2回の点検検査により、交換の必要があると診断が出れば交換す

る。

●介護保険特別会計補正予算(第1号)

●訪問調査件数が増えた理由は。

【A】昨年まではコロナにより臨時的な訪問調査がなされなかったが、今年度から訪問調査件数が増えた。

●専決処分について(一般会計補正予算(第4号))

●学校の改修状況は。

【A】危険個所の調査を行い、クラックやひび等を改修し、8月末までに改修工事を終えている。

●長寿命化計画を変更することもあるのか。

【A】長寿命化計画に関わらず、早急に対応する必要箇所があれば、柔軟に対応する。

議会のうごき

6月	23日	議会広報特別委員会(議会報第157号企画編集について)
7月	3日	議会広報特別委員会(議会報第157号企画編集について)
	4日	行政視察受け入れ(芦屋町)
	12日	議会広報特別委員会(議会報第157号企画編集について)
	14日	厚生文教常任委員会(総合保健福祉センターの進捗状況)
	20~21日	京都郡町議会議長会行政視察(鹿児島県さつま町)
8月	24日	行政視察受け入れ(長野県飯島町)
	21日	全員協議会(令和5年第5回定例会提出予定議案について)
	22日	議会運営委員会(令和5年第5回定例会について)
	25日	議会開会
9月	29日	議案質疑
	4~5日	一般質問
	6日	付託委員会、厚生文教常任委員会(総合保健福祉センター廃止に伴う経過報告)
9月	7日	決算特別委員会
	12日	議会閉会

決算
特別委員会

●一般会計
【総務費】
Q 心るさと応援寄付金返礼品の増額理由は。
A ユニ・チャームの製品や県内共通の返礼品も追加され、寄付のチャンネルも増加したため。
Q 北九州エアターミナル支出金の内容は。
A 第2国際貨物上屋の一部負担金と、トラック待機所の一部負担金を、県と北九州市と本町で支出した。
Q 防犯カメラ設置事業補助金は、令和3年度に2件の実績があったが令和4年度は。
A 0件。要因は、カメラ購入後の維持費等の負担が考えられる。

Q ブロック塀等撤去費補助の件数は。
A 3件。
【民生費】
Q かんだ号運航業務委託料の増額理由は。
A 令和3年度は、コロナの影響で一時期運休をしていたが、現在は通常へと徐々に戻りつつあるため。
Q 子育て支援アプリの登録者数は。
A 8月末時点で621名。
【衛生費】
Q はじめまして赤ちゃん訪問事業委託料とは。
A 生後2か月から4か月の乳児がいる家庭に、助産師が訪問し、体重測定や健康状態、母親からの心身等の相談を受けている。
Q 環境衛生費にある修繕料の内容は。

A 火葬炉耐火レンガ等の修理費。
【農林水産業費】
Q 御清水ヶ池の利用世帯は。
A 76戸。
【商工費】
Q かんだ港まつり補助金は500万円となっているが、1000万円に戻ることもあるのか。
A 実行委員会の中で、成立した警備計画が進めば、本町としても検討していく。
【土木費】
Q 苅田駅東口広場将来需要予測業務委託料の内容は。
A エレベーターと駐輪場の利用調査を行い、今後の管理方法を検討していく。
【消防費】
Q 119通報時多言語通訳サービス委託料の内容は。

の内容は。
A 外国人が通報した際に受託サービスとなき、3者間通話で通訳を介して対応する。
Q 気管挿管の資格を取得するために、実習に行った人数は。
A 1名。
Q 本町の救急救命士の人数は。
A 17名。
【教育費】
Q 管理費にある修繕料の内容は。
A 主に校舎等の修繕関係費用で、大、中、小合わせて約100件の費用。
【災害復旧費】
Q 河川災害復旧工事の内容は。
A 谷区からの弁入川護岸復旧工事。
●介護保険特別会計
Q 今後の見通しは。
A 来年度以降、現在

令和5年第5回 苅田町議会定例会議決結果一覧表

議案番号	議案題名	末石	花見	村上	岩谷	尾形	白石	友田	榎谷	小山	井上	武内	梶原	松原	沖永	坂本	結果
議案第59号	令和5年度苅田町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第60号	令和5年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第61号	令和5年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第62号	令和5年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第63号	令和5年度苅田町土地画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第64号	令和5年度苅田町下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第65号	令和5年度苅田町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第66号	令和4年度決算の認定について(苅田町一般会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第67号	令和4年度決算の認定について(苅田町国民健康保険特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第68号	令和4年度決算の認定について(苅田町後期高齢者医療特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第69号	令和4年度決算の認定について(苅田町介護保険特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第70号	令和4年度決算の認定について(苅田町土地画整理事業特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第71号	令和4年度決算の認定について(苅田町住宅新築資金等特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第72号	令和4年度決算の認定について(苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第73号	令和4年度決算の認定について(京都郡公平委員会特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第74号	令和4年度決算の認定について(苅田町下水道事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第75号	令和4年度決算の認定について(苅田町水道事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第76号	苅田町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第77号	苅田町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第78号	専決処分について(令和5年度苅田町一般会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第79号	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第80号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第81号	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

令和5年第6回 苅田町議会臨時会議決結果一覧表

議案番号	議案題名	角崎	森	福山	田	末	花	村	岩	尾	白	友	小	武	坂	榎	沖	結果	
議案第82号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

議長は採決に加わらない。 ○-賛成、×-反対 除-除斥(審議対象議員のため退席)



苅田駅ロータリーのエレベーター

よりも値上がりする方向である。
●土地画整理事業特別会計
Q 工事の状況は。
A 令和9年度までに完了予定。
●住宅新築資金等特別会計
Q 滞納件数28件とあるが、今後の施策は。

A 債務者の生活状況等を把握しながら徴収に努める。
●苅田臨空産業団地開発事業特別会計
Q 滞納件数1件の内容は。
A 臨空産業団地造成工事にかかわる談合事件による、損害賠償金。



一般質問内容一覧

9月定例会において 6名の議員が質問

質問者氏名	質問要旨	掲載
岩谷 潔	1. 農業者支援策について 2. 町道の維持管理 3. 町の発展のための港湾利用	11 ページ
白石 学	1. パンジープラザ廃止 2. 秋の交通安全県民運動	12 ページ
小山信美	1. 都市公園の維持管理 2. 町有地維持管理のあり方 3. 障害者の権利に関する条約 4. まちづくりの拠点施設	13 ページ
武内幸次郎	1. 2024問題について 2. 組織機構と人事配置 3. 企業誘致と雇用確保	14 ページ
梶原弘子	1. 不交付団体の自治体としてメリットは 2. 教育問題について 3. 企業誘致対策について 4. 高齢者や弱者の外出、移動に町としてやさしい政策を	15 ページ
松蔭日出美	1. 苧田町の未来について	※注

※注 松蔭日出美氏の一般質問については、原稿掲載を辞退する申し出がありました。

会派名は、9月定例会一般質問時点のものです。
一般質問について掲載している内容は、会議録に基づき質問者自身が要約し広報委員会が校正したものです。
なお、一般質問の録画映像は、苧田町議会ホームページでご覧いただけます。

議会 掲示板

12月定例会の予定

- *会期は12月5日(火)から12月21日(木)まで
- *一般質問は12月13日(水)・14日(木)・15日(金)
- *問合せ先 議会事務局 ☎093・434・1981

議会中継アクセス件数

9月末時点アクセス件数
(令和5年4月からの累計)

ライブ中継 **510**件
録画中継 **1669**件

効果的な農業支援を

A再検討していく



岩谷 潔 (飛翔の会)



農業者支援策

- Q** 農地流動化促進事業の考えは。
- A** 県平均で農地の集積率が55%程度に対し、本町は30%弱。もっと集積すべき。
- Q** 遊休農地解消支援事業の申請がないのは。
- A** 水の問題や機械が入りにくい。
- Q** 遊休農地を解消するためには、農道・水路整備が必要では。
- A** 事業が始まって半

年、効果検証まで至っていない。再検討の必要がある。

- Q** 農作業省力化支援事業の申請状況は。
- A** 9件。
- Q** もっと効果的な内容の改定を。
- A** 効果検証し、県の補助と合わせていく。
- Q** 新たな事業で田を畑に転換する補助は。
- A** 国の補助がある。
- Q** イノシシ対策の状況は。
- A** 電柵半額補助、上限2万5千円。駆除

要望は多い。

- Q** 農地面積に応じた電柵補助の考えは。また別の対策は。
- A** 状況を見ながら考えていく。地域の合意があればワイヤーメッシュの設置も可能。
- 提言** 農地の集約が進めば大型機械が必要になる。補助の割合を見直し、農地の集約をはかり、大規模農業を推進すべきだ。

町道の維持管理

- Q** 費用の内容は。
- A** 電気代・修繕費・草刈り代・補修工事。令和4年度は約3800万円。そのうち草刈りは約970万円。
- Q** 防草対策は。
- A** 行っていないが、今後、必要になる。
- Q** 路肩の草により、離合困難や車に傷がつくなど、保障問題になるのでは。
- A** 管理瑕疵の無いよう維持管理していく。
- Q** 与原区画整理事業に伴う、与原上神社前町道の付け替えは。
- A** 具体的には決まっていない。
- Q** 与原地区工業専用地域内では、民間開発により利用価値のない町道が残っているが。

A 払い下げするか町で管理する。

Q 利用価値のない土地ができないために。

A 地元水利組合から情報を得て、払い下げたい。

Q 街路樹の剪定は。

A 2年に1回、秋以降行っている。

Q 年間300万円程度の費用がかかっているが、計画的な管理が必要では。

A 古い木は早急に撤去し、状況を見ながら管理する。

町の発展のための港湾利用

提言 先人の努力により、現在の苧田港の発展がある。更なる発展のために、将来像が必要。町が中心となり、港づくりを重要な課題にすべきだ。



Q まちづくり拠点の建設地は

A 井場川埋立地を第一候補とする



白石 学 (公明党)



Q まちづくり拠点の建物の規模や計画は。

A 具体的な規模や構造は決めていない。大至急検討する。

Q パンジープラザの廃止について、町民説明会を開いてはどうか。

A 直接開く場はない。社協や各団体に町民の意見集約を依頼した。

Q 総合福祉会館改修の具体的な内容は。

A ベランダは改修する。管理棟はパーティ

ション等空間を使い分ける。駐車場も直していく。

Q 総合福祉会館の2階2部屋の利用と利活用は。

A 急な階段で、高齢者には厳しい。活用方法を検討する。

Q 民地へ移転するシールバー人材センターの進捗状況は。

A 場所について検討中だ。

Q パンジープラザのボランティア協議会、老人クラブ連合会、

ボランティア団体の位置づけは。

A まちづくり拠点の中で一緒に活動していく。常駐スペースではなく、多目的スペースを共同での利用になる。道具等のスペースは確保する。

Q 健康増進教室、ニコペース運動は継続の要望が多いが。

A 公共施設内での運営の継続を考えている。

交通安全県民運動

Q 重点項目は、歩行者の安全確保、自転車等のヘルメット着用、飲酒運転の撲滅等だが、町の取り組みは。

A 交通指導員による街頭指導、パトロールでの広報活動、ホームページ掲載等。

Q 本町の自転車関連の事故件数は増えているのか。

A 令和5年7月現在で、事故件数は29件、死亡事故はゼロ。昨年と比べて6件増加している。

Q 苅田町自転車ネットワーク整備計画では、自転車の通行空間を創出するとあるが、進捗状況は。

A 全体計画は、2900メートルだ

が、令和4年度末で進捗率は17・2%だ。

Q 自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化された。購入に助成する考えは。

A 近隣市町の動向を注視していく。

Q ヘルメット着用で

死亡率は4分の1減る。効果は高いが。

A 吉富町や全国の導入自治体を調査研究する。



パンジープラザ

Q 「手話」の環境整備を

A 「手話が言語」を認識し県と連携



小山 信美 (公明党)



Q 福岡県手話言語条例の認識については。

A 施策の改善や新施策の創出、教職員の手話の普及等である。

Q 教職員の手話の習得状況は。

A 把握できていない。Q 町のイベント等の周知方法は。

A 通訳の有無や依頼方法を検討する。

Q 京築管内以外の医療機関への通訳派遣について、取り決めがあるのか。

A 町は京築手話協会

に依頼。協会同士で調整している。

Q ホームページに、福祉課職員による手話動画配信の考えは。

A ホームページのリニューアルは計画しているが、把握していない。

都市公園の維持管理

Q 都市公園植栽管理計画の進捗状況は。

A 8月に調査終了。10月末までに管理目標や方法、頻度、費

用等を検討する。

Q 調査の件数と管理不足の原因は。

A 19の都市公園。令和3年度までは会計年度職員3人で対応していたため。

Q くすの木坂公園の管理状況は。

A 除草は地元の協力で、樹木は町が対応。

Q 来年度から何年で通常管理になるのか。

A 10年程度で植樹の改修等を行いたい。

町有地管理のあり方

Q 普通財産で、道路に隣接している箇所と担当部署は。

A 約1万1000㎡で、担当は財政課。

Q 町道のガードレール付近の安全性は。

A 42路線は年2回の草刈りを行い、要望があれば業務委託か職員が草刈りをする。

Q 街路樹の遊歩道数と、植栽の管理は。

A 小波瀬区の5路線と玉川沿いの1路線。2年に1回の剪定。

Q 根上がりの原因と対策、調査研究は。

A 横に広がるタイプがあり、対策はできていない。

まちづくりの拠点施設

Q 井場川埋立地を候

補にした理由は。

A にぎわい創出のまちづくり拠点として、ボランティアの活動拠点が確保できる。

Q 駐車場の確保や、グラウンドの設置は。

A 駐車場は県有地等を協議。グラウンドは困難である。

Q 健康増進室の今後は。

A 現況同等の場所を2カ所に絞り選考中。駐車場も確保できる。

Q レストランと高齢者の宅配事業は。

A 継続の依頼はしているが、不透明だ。



未整備の町有地

Q 物流拠点としての現状認識は

A 企業には物流は必要不可欠だ



武内幸次郎 (大樹会)



Q 本町における2024年問題の現状課題は。

A 時間外労働の上限規制や労働環境等による人手不足等の影響が懸念される。

Q 実態把握は。

A できていない。10月以降に製造事業者を対象に実態調査を行う。

Q 物流が重要視される地域であり、2024年問題への影響把握や検証等をするべきでは。

A 滑走路延伸もあり、物流量の増加が期待される。不確定要素が多くつかみにくい。

Q 運送業者に対し、多くの自治体で支援措置が施されているが、現状把握は。

A コロナ対策地方創生交付金等を活用して、様々な支援措置を行っているのは承知している。

Q 交付金の使途への検討依頼はあったと聞か、検討内容は。様々な検討を行う

たが、水道基本料金の減免措置に至った。

Q 田川市で新たな支援措置を講じたとの事であるが、内容は。

A 燃料価格高騰の影響を受けており、地域経済の担い手でもある運送業者等に対し、交付措置を行うことを確認している。

提言 本町は物流拠点として注目されている。公平性も大事だが政治はメリハリだ。

組織改革と人事配置

Q 現状の人事配置をどのように捉えているのか。

A できる限りのことを行っている。国・県との人事交流をどの様に捉えているのか。

A 多くの所属経験による知識習得が、職員の内成長をもたらす。本町の貢献が期待できる。

Q 派遣先のノウハウを生かすことが重要では。

A 物事や新たな考え方を生かすことを重要視した任用だ。

Q 民間との人事交流は。

A 意義があるとは思いますが、行政課題が山積しており人的余裕がない。

提言 効率的な行政運営を図る観点からも企業感を養うべきだ。

Q 政策監を設けた意義は。

A 山積課題の解決に当たるため。

Q 政策監が課長兼任になっている。本来の目的が叶うのか。

A 負担が増しているが、人的不足での対応だ。

提言 政策監としての職務を全うする方が効率的だ。

企業誘致と雇用確保

Q 企業誘致と雇用確保は一体的なものだ。雇用確保に力点を置くべきでは。

A 産学官での人材育成や確保への意見交換は行っている。さらに検討していく。

Q 住宅開発がなされているが、さらに民間の活力喚起を促す施策が必要では。

A 何度となく提言をいただいた。町の負担を最小限に効率的な道路整備への検討を行っている。



トラック運送業者

Q 不交付団体としてのメリットは

A 税の増収分を独自の政策、財源に配分できる



梶原弘子 (無党派)



町長が公約に掲げたまちづくりプラン

Q 「人に優しく町を元気に」と公約にあるが、特に力を入れているのは。

A 苅田駅、小波瀬西工大前駅周辺整備計画を進めたい。

Q 女性の社会参画や地域での「男女共同参画」を支援するとなっているが。

A 役場の女性管理職を増やしたり、各審議会にも女性委員を

増やしたい。

Q 「ごみ減量、処理費削減」についての今後の計画は。

A ごみは1人1日「1kgを出して」減

量したい。ごみ処理施設も老朽化しており、次のステップに進めたい。

Q 「燃やす」から「仕分け」の方向性へ計

画できないか。

A 環境審議会で見解をもらう予定。

Q 町の魅力を発信する観光振興については。

A コロナ禍で活性化が遅れたが、新しい情報伝達を使い、内外に発信している。

Q 自然環境、景観保持については。

A 白石海岸は唯一の自然海岸であり、町の財産として残していきたい。緑を増やし整備もしていきたい。

Q 農業政策については。

A 従来のやり方からソフトチェンジした。農業者から意見を聞いて別の方法を検討したい。

義務教育は無償

Q 制服を新しくした理由は。

A SDGsの観点や諸状況からデザインを変更をした。

Q 「制服」であるならば、町が支給すべきだと思うが。

A 従来より制服の購入費用については各



新しいデザインの中学校制服

家庭に負担していただいている。

Q 制服の変更にたいして、保護者や生徒に意見を聞いたのか。

A アンケート等を行った。



白石海岸

こんにちは

議会広報です

読みやすい広報紙
を目指して

令和5年第6回臨時会
(10月24日、25日)にて設
置された議会広報特別委員
会です。

当委員会は、定例会・臨
時会の概要や一般質問の要
旨、各委員会の調査報告、
議案の質疑結果など議会活
動状況を掲載している議会
だよりの企画、編集、発行
をおこなっており、年4回、
毎定例会終了後に発行して
います。

議会広報の目的として、
昭和58年の創刊より「町民
のまちづくりへの参加意識
を引き出すために、読みや
すい紙面づくり」を目指し
てきました。

今後も開かれた議会を目
指し、わかりやすい議会広
報に努め、一人でも多くの
町民の皆様にご覧いただき、
よりまちづくりに関心
を持てるような紙面づくり
に取り組んでまいります。
皆様のご理解とご協力を賜
りますようお願い申し上げ
ます。

**政治家の寄附は禁止、
有権者が求めることも禁止されています**

みんなで徹底しよう
三ない運動

贈らない! 求めない! 受け取らない!

これらのものも、政治家の寄附禁止の
対象となります。

秘書等が代理で
出席する場合の
結婚祝



地域の運動会・
スポーツ大会への
飲食物等の差入



お祭りへの
寄附・差入



町内会の集会・
旅行等の催物への
寸志・飲食物の
差入



落成式・
開店祝等の
花輪



病気見舞



お中元・お歳暮



入学祝・卒業祝



葬儀の花輪・
供花



秘書等が代理で
出席する場合の
葬儀の香典



議会広報特別委員会

委員長	榎谷 忠明
副委員長	村上 智宣
委員	小山 信美
委員	末石 伸二
委員	田淵 朗
委員	福山 直樹
委員	森 琢磨
委員	角崎 明美

今回からこのメンバー
で広報編集を行います。
よろしく願います。



前列左より小山委員、村上副委員長、榎谷委員長、森委員
後列左より角崎委員、福山委員、末石委員、田淵委員

あとがき

令和5年もひと月余り
となりました。毎年の様
に異常気象による豪雨等
でお亡くなりなられた
方々のご冥福をお祈り申
し上げますと共に、被災
された方々にお見舞い申
し上げます。

私も広報委員会の委員
長として、今迄以上に襟
を正し、議会の公正かつ
円滑な運営に努め、その
内容を町民の皆様へ分か
りやすくお伝えできる様
に取り組んでまいります。
今後も、多くのご意見
やご指導をよろしく願
い致します。 榎谷忠明

おことわり

今回の議会だより158
号は、町議会議員一般選挙
が9月24日に行われたこ
とで、発行が大幅に遅れま
したことをお詫びします。
なお、今号は新旧の議会
構成で編集しています。